

平成 21 年 1 月 16 日

本学正科生のみなさま

八洲学園大学教務委員長
高鷲 忠美

「卒業研究演習」「卒業論文」の履修について

「卒業研究演習」および「卒業論文」は科目名の示すとおり本学の学習成果として卒業論文を書くことを目的とした科目です。両科目は他の科目同様の選択科目であり、本学を卒業するために必ず履修しなければいけないものではありません。しかしながら、本学で学んだ成果を基礎にして個々人の関心から学問的な探求を行い、その成果を論文の形にまとめあげることができる好機です。積極的に取り組まれることをおすすめ致します。

なお「卒業研究演習」、「卒業論文」の履修は科目の性格上、他の科目とは異なり、留意しておくべき点があります。履修希望者は以下の「卒業研究演習」、「卒業論文」の履修上の留意点を十分理解した上で履修するようにしてください。

1. 履修上の留意点

1) 「卒業研究演習」と「卒業論文」の関係について

「卒業研究演習」と「卒業論文」は、教員の指導を受けながら、卒業論文を作成するために必要な、具体的な〈題目の設定〉、〈論文の構成〉、〈研究方法〉、〈論文作成の方法〉などを学んでいく科目であり、最終的に卒業論文を完成させる事を目標とする科目です。したがって、卒業論文を書こうとする学生は「卒業研究演習」と「卒業論文」を1年間かけて履修しなければなりません。たとえば春学期に「卒業研究演習」を履修した学生は秋学期に「卒業論文」を履修し、2科目を1年かけて履修するなかで卒業論文を完成させなければなりません。

2) 履修条件

「卒業研究演習」

今学期の履修単位を含め原則 100 単位以上修得済みであることが履修の条件となります。

「卒業論文」

「卒業研究演習」を既修得であることが履修の条件となります。

3) 授業料

「卒業研究演習」(2 単位) 25,000 円

「卒業論文」(4 単位) 37,000 円

4) 指導教員について

「卒業研究演習」「卒業論文」の指導の担当は以下の 25 名の教員によって行われます。

履修を希望する学生は「卒業研究演習・卒業論文担当指導教員申請書」(別紙)によって、希望する指導教員に研究テーマ・研究計画を提出し、研究指導担当の承認を受けなければなりません。申請期間については別表を参照してください。

なお、指導教員は、自分の所属する課程の教員から選ばなければなりません。

(ご希望の先生が該当学期に担当可能であるかどうかを、

申請前に必ず「卒業研究演習」「卒業論文」のシラバス等よりご確認ください。)

(指導教員一覧)

【家庭教育課程】(15名)

高橋進 教授、水野建雄 教授、中田雅敏 教授、赤沼幸子 教授、生越詔二 教授、
岸俊彦 教授、福田博子 教授、望月嵩 教授、渡邊達生 教授、石井雅之 准教授、
嚴錫仁 准教授、平良直 准教授、江田英里香 専任講師、大石純子 専任講師、
田中マリア 専任講師

【人間開発教育課程】(10名)

山本恒夫 教授、浅井経子 教授、高鷲忠美 教授、沼倉佑栄 教授、山本格 教授、
秋吉正博 准教授、石田尊 准教授、篠崎明子 専任講師、田井優子 専任講師、
埴武郎 専任講師

5) 研究指導の方法について

受講開始時第1週目は教員別の教室において配信授業が行なわれます。その後、各担当指導教員別の教室において卒業論文作成に向けた指導を受けます。(指導方法やスケジュールは各教員によって異なりますので、指導教員別の科目シラバスで確認するようにしてください。)

2. 評価と単位について

「卒業研究演習」(2単位)：中間成果報告を提出して評価を受け、合格すれば2単位を修得

「卒業論文」(4単位)：卒業論文を提出し合格すれば4単位を修得

3. 卒業論文執筆要領について

卒業論文の字数、様式については「卒業論文作成要領」(別添)を参照するようにしてください。

4. 卒業論文の提出について

卒業論文の提出の方法、期限、部数は以下の通りとなっています。

○提出先：八洲学園大学事務局(郵送の場合「卒業論文在中」と明記のこと)

○提出期限：平成22年1月10日午前9時～平成22年1月15日午後10時まで。

(郵送の場合、平成22年1月15日消印有効)

○提出部数：正副各1部

5. 卒業論文事前指導室について

卒業論文の履修を希望する学生は、指導を希望する教員に「卒業論文事前指導室」において、履修前に相談することが可能です。